

組織現勢 (11月1日現在)
 組合員数 23,716 世帯
 出資口数 71,801 口
 10月の新規加入 84 世帯
 10月の増資口数 2,022 口

R100 古紙配合率 100% 再生紙
 を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-14
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座 (普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

第22回大田・品川健康まつりに4000人



チーム幻の南中ソーラン

10月22日(日)に行われた第22回大田・品川健康まつりは、約4000人の参加で、大成功をおさめることができました。ご参加いただきましたみなさまにお礼申し上げます。
 当日は天候にも恵まれ、予定通りに進行することができました。中央舞台では、東京労音の太鼓、中延(新婦人品川)のかわり、大田区内の小中学生(チーム幻)による南中ソーラン、大田太極拳クラブのみなさん、すずらん職員のみなさんによる「よつちよれ」、南部合唱団の歌声、松平晃さんのトランペット演奏、各団体からの訴えなど、ご協力もいただき、「平和でこそ」の思いをひとつにして、多くの方々に楽しんでいただくことができました。模範店は、東京南部生協の出店もあり、68の出店となり大盛況となりました。また、今回のメインスローガンは「みんなで手をつなごう。誰もが安心して住みつけられるまちづくりを」ということで、昨年までの医療・介護についての相談コーナーや健康スタンプラリー、アスベストについての相談コーナーなどに加えて、今回の企画として食糧・障がい者・教育・医療・介護のそれぞれの分野の問題を巡るクイズスタンプラリーや「人間の鎖」

第22回大田・品川健康まつりのお礼

ついに、多くのみなさんに楽しんでいただくことができました。模範店は、東京南部生協の出店もあり、68の出店となり大盛況となりました。また、今回のメインスローガンは「みんなで手をつなごう。誰もが安心して住みつけられるまちづくりを」ということで、昨年までの医療・介護についての相談コーナーや健康スタンプラリー、アスベストについての相談コーナーなどに加えて、今回の企画として食糧・障がい者・教育・医療・介護のそれぞれの分野の問題を巡るクイズスタンプラリーや「人間の鎖」

を行いました。人間の鎖は完全につながらなると10分でしたが、多くの方の連帯を感じることができました。その他、大行列のできた新大田建設組合による包丁とぎ、まな板削りなども大好評でした。今回の健康まつりを機会に、各団体に、個人の連帯をさらに強め、さまざま運動で一緒にとりくんでいければと思います。第22回大田・品川健康まつりへのご参加、ご協力本当にありがとうございました。2006年10月23日 第22回大田・品川健康まつり実行委員会 実行委員長 権守 光夫



南部合唱団のうたごえ



東京南部労音開幕太鼓



松平晃さんのトランペット



あと10mだった人間の鎖

第22回大田・品川健康まつり 福引き当選番号

重複当選の場合は上等級の当選となります。例：3326のループループ当選の方は、下一桁6のバブラシは対象外。

- 特等 (高級自転車 1本) 5233
- 1等 (多機能体組成計 1本) 9232
- 2等 (血圧計 2本) 0361 0717
- 3等 (タラバガニ 3本) 0707 7847 9167
- 4等 (米・味噌セット 5本) 0785 1579 2404 4588 8065
- 5等 (ループループ 15本) 0599 0913 1148 1383 1714 3326 3774 4503 4780 5099 5451 5753 8983 9600 9275
- 6等 (歩数計 20本) 0136 0324 0579 0769 1321 2038 3615 4095 4900 5095 5275 5335 5721 6465 6904 7075 7124 8630 9236 9851
- 7等 (ハブラシ 1本 下1桁) 0 6 以上

腹八分

いま教育基本法の改定が急を告げています。この法律は昭和22年、日本国憲法の制定に続いて公布された。その前文には「日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである」と謳われており、第1条では「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、心身ともに健康な国民の成育を期し」と示されています。▼改定することよりも、その内容をさらに遂行させていくべき条文です。改定派は条文の中に愛国心や家庭教育が盛り込まれていないことが不満のようです。しかし愛国心の強制には血なまぐさい印象がつかまいます。家庭教育でも、格差社会を生み続けてきた政府の施策にこそ、家庭崩壊の原因を求めなければなりません。教育基本法に触れる機会が多くなることで、この法律を守ろうとする世論も広がっています。▼この世論の流れに危機感を持ったのか、文科省は、各地方におけるタウンミーティングで、組織的な「やらせ」発言をくり広げました。この問題は国会でもとりあげられました。ようするに改定を求める勢力は国民を騙そうとしたのです。かつて軍国主義の下にあった日本は、脅しと騙しで国民を戦争に駆り立てました。世界の流れに逆行したその反省が、教育基本法を生み出したのです。